

横手市議会定例会  
市長所信説明

令和5年9月

(令和5年8月21日 告示)

横手市

## 第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が<sup>ひら</sup> <sup>かがや</sup> 燦くまち よこて

### 後期基本計画 政策・施策

**政策1** 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます  
【健康福祉】

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 【施策 1-1】 子育て支援の充実          | 【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実   |
| 【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進      | 【施策 1-5】 低所得者福祉の充実      |
| 【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成 |

**政策2** 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます  
【教育文化】

- |                                 |                            |
|---------------------------------|----------------------------|
| 【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 |
| 【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備      | 【施策 2-4】 心を豊かにする生涯学習の推進    |
|                                 | 【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見   |

**政策3** 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます  
【生活環境】

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全    | 【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進   |
|                                | 【施策 3-5】 地球温暖化対策の推進    |

**政策4** 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります  
【産業振興】

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| 【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信     |
| 【施策 4-2】 活気ある商業の振興  | 【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】 活力ある工業の振興  |                            |

**政策5** 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます  
【建設交通】

- |                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現     | 【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-2】 快適な移動空間の実現       | 【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備         |
| 【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実 |                                  |
| 【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化 |                                  |

**政策6** やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます  
【市民協働】

- |                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| 【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり           | 【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進 |

**政策7** 横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます  
【行政経営】

- |                                 |
|---------------------------------|
| 【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進 |
| 【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進   |
| 【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実   |

## 目 次

<b>1. はじめに</b> .....	1
<b>2. 新たな施策等への取り組みについて</b> .....	4
(1) 冬季観光閑散期の誘客を図る取り組みについて .....	4
(2) 電子母子健康手帳 子育てDX小児予防接種サービスの導入について .....	6
<b>3. 令和5年度事業等の進捗状況について</b> .....	7
(1) 大型公共施設整備事業について .....	7
(2) 普通交付税について .....	8
(3) 新型コロナウイルスのワクチン接種について .....	9
(4) 歴史文化で結ぶ都市間交流宣言事業について .....	10
(5) 増田まんが美術館を拠点とした文化観光の推進について .....	11
(6) 柳田工業団地整備事業について .....	11
(7) 雪捨場用地取得事業について .....	12
<b>4. 補正予算について</b> .....	12
<b>5. おわりに</b> .....	13
<b>※行政一般報告編</b> .....	16

令和5年9月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 1. はじめに

先月14日から県内の広い範囲を襲った記録的な大雨は、活発な梅雨前線の影響で半日の間に平年の1カ月分を超える降水量となる地域もあるなど、かつて経験したことのない規模となりました。県内各地では住宅の床上浸水や農業被害など幅広い影響が出ており、被害に遭われた全ての皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

当市においても、複数の箇所です砂崩れや法面の崩落が確認され、水道の導水管の破損などもありましたが、被害はごく一部に留まり、幸いにも市民生活への大きな影響はございませんでした。また、土砂災害警戒情報などの気象警報に基づき、一部地域に「高齢者等避難」を発令し、避難所を開設するなどの対応をとったところではありますが、人的被害・物的被害はございませんでした。

このような状況を受け、当市としては7月16日より、被害の大きかった自治体への支援活動を開始いたしました。男鹿市や五城目

町での給水支援、秋田市での被災家屋調査の支援など、これまでに延べ160名を超える職員を派遣しており、今後も継続して支援を行ってまいります。疲弊している被災自治体に対して応援するという意味合いはもちろんでありますが、自然災害など当市においてもいつ何時災害に見舞われるかは分からず、いざという時に対応できる力や知見を獲得できる機会とも捉え、職員には率先して支援先での経験や知識を組織へフィードバックするよう指示いたしました。今後も常に災害への備えに努め、市民生活の安全・安心の確保に注力してまいります。

横手駅東口の市街地再開発事業建築工事において施工不良箇所が発覚した件につきましては、市民の皆様にも大変ご心配をおかけしております。

本件につきましては、横手駅東口第二地区市街地再開発組合が発注した建築工事において、民間用の複合施設であるB-1棟と呼ばれる建築物で設計図と異なる施工が行われたうえ、監理者に報告がなされていなかったことが判明したものであり、建築工事を請け負う特定業務代行者である建設JVの代表が事実を認めております。組合では、建物の現地調査を実施し安全性の確認作業を進めておりましたが、今月9日に開催された再開発組合理事会において、工事監理を担当する一般業務代行者から「梁の一部に補強等を要する」

と報告があったことから、梁のみの補強工事を行うか設計図書どおりの施工に戻すか、検討作業を行っております。

また、工事が中断しておりました公益施設となるA棟につきましては、建築工事が再開されております。

市では、本事業へ補助金を支出する立場として国・県とも情報を共有し、引き続き、今後の対応について随時協議を行ってまいります。

横手市経済の起爆剤として大きな期待のかかるこの再開事業を成功裏に導くため、当市といたしましては、安全・安心な施設の完成に向け、事業を支えてまいりたいと考えておりますので、今後とも市民の皆様、議員の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、先の7月臨時議会では、コロナ禍明けのイベント再開元年として、各地域での花火を伴うイベントへの補助金について議決いただきました。コロナ禍の間に休止等を余儀なくされていたイベントの通常開催に向け、この間の物価高騰による資材費等の値上がりや景況の悪化による協賛金の減少などの課題に対し、花火の打ち上げ経費の補助というかたちで支援することで、コロナ禍前と変わらぬ元気な横手市の姿を市内外に発信でき、地域や市民の皆様の士気高揚につながることを期待しております。先月29日に行われた

大雄サマーフェスティバルでは、好天に恵まれステージイベントや屋台村も大いに賑わい、約11,000人のお客様に会場いただいたなかで、フィナーレに会場近くから迫力満点の花火が打ち上げられました。今年16日には、横手の送り盆まつりで屋形舟繰り出しが行われ、威勢よくぶつかり合う屋形舟の後方で盛大な花火が夜空を彩り、多くの来場者に夏の夜のひと時を楽しんでいただきました。9月にも本補助金を活用して増田や平鹿、山内など各地域でイベントが開催される予定となっており、伝統の継承と賑わいの創出という双方の観点から、改めて地域との協働による活性化を図ってまいります。この地で暮らす皆様が誇りに思える横手市であるとともに、他の地域から訪れる皆様にも活発に人が行き交う元気なまちの姿を感じていただけるよう、今後も様々なかたちで横手の地に活気を生み出し、希望と魅力にあふれる豊かな横手市の実現に力を尽くしてまいります。

## **2. 新たな施策等への取り組みについて**

### **(1) 冬季観光閑散期の誘客を図る取り組みについて**

これまで、冬期間は観光閑散期となることが課題とされておりましたが、この期間の誘客を強化、多角化するため、観光関係者と連

携した取り組みを行ってまいります。

冬期間は、かまくらと梵天の雪まつり開催日である3日間は大変多くの観光客が当市を訪れ、市内宿泊施設もパンク状態となりますが、それ以外の日には観光客が少なく、宿泊施設の空室が多い状況にあります。

当市は豪雪地帯として全国的に高い知名度を持っており、雪が降らない地域からの観光客、特にインバウンド客には、雪国の暮らしぶりや文化、雪そのものが訴求力の高い観光コンテンツとなります。その中でも特に、「かまくら」は当市の絶対的な観光コンテンツでありますので、雪まつり開催日以外にも、本物の「かまくら」に触れてもらいながらの写真撮影や雪国暮らしの体験、雪と触れ合うアクティビティなどのプログラムを提供し、雪国や雪そのものをより魅力的に実感いただける、他では味わえない特別な体験型観光コンテンツの造成に取り組んでまいります。

冬季観光閑散期の誘客強化のため、横手市観光協会や横手市観光推進機構、秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合横手支部などの観光関係者と緊密に連携し、今年度は雪まつり前の時期にモニターツアーを実施するなど、今後の商品化も見据えながら、市内宿泊者の増加、観光消費額の拡大へとつなげてまいります。



## (2)電子母子健康手帳 子育てDX小児予防接種サービスの導入について

この度、国の「過疎地域持続的発展支援事業交付金」を活用し、「電子母子健康手帳 子育てDX小児予防接種サービス」を導入することといたしました。

子育てDX小児予防接種サービスは、電子母子健康手帳を入り口として、保護者の予防接種スケジュール管理や予診票の記入、医療機関における予診票確認や委託料請求、市における接種記録登録や接種委託料支払処理までを電子化できるもので、「子育ての負担軽減」に大きな効果が期待できるとともに、事務の効率化にもつながるものです。電子母子健康手帳を導入している自治体は全国に数多くありますが、小児予防接種関連の電子化を含む取り組みは東北初となる見込みであります。

今後、アプリの導入を進め、年明け1月から保護者の皆様へご案内するとともに、3月から利用開始できるよう準備を進めてまいります。もちろん、これまでの紙による予診票等を用いた予防接種も継続いたしますが、保護者の皆様の選択肢の一つとして、横手市医師会の協力を得ながら、より利便性の高い子育てサービスの実現に向け、環境整備に努めてまいります。

### 3. 令和5年度事業等の進捗状況について

#### (1) 大型公共施設整備事業について

横手体育館及び横手市民会館の整備につきましては、昨年度から進めておりました実施設計が完成し、今月17日にそれぞれの施設の入札公告を行いました。今後は契約手続きへと進み、仮契約の締結後、契約議案を市議会へ上程する予定であります。

両施設の管理運営計画策定につきましては、5月に計画策定支援業務を委託し、各種調査、検討を進めているところであり、12月頃には中間案を取りまとめる予定としております。

また、市民会館につきましては、施設の管理運営等にご助言をいただく「管理運営アドバイザー」として、兵庫県在住の<sup>おざわおうさく</sup>小澤櫻作氏を7月1日付けで委嘱いたしました。小澤氏は、長年にわたり全国各地の文化芸術ホールの管理、運営を担当され、あわせて新設ホールの立ち上げ準備支援などの経験もお持ちの方であります。当市とのご縁といたしましては、一昨年、市内小学校にプロの音楽家を派遣し本物の芸術に触れる機会を創出する「公共ホール音楽活性化事業」、通称「おんかつ」を行った際にコーディネーターを務めていただいたほか、昨年度には市民会館の基本設計へのアドバイスもいただいております。今後、管理運営計画のほか、事業運営を担う人

材育成などについてもご助言をいただくこととしております。

## (2) 普通交付税について

この度、令和5年度の普通交付税が決定され、臨時財政対策債を加えた実質的な総額は186億1,258万円となり、昨年度の最終的な交付決定額と比較し、額にして3億1,757万円、率にして1.7パーセントの減となっております。

このうち、普通交付税につきましては184億5,700万円であり、昨年度と比較し1億4,489万円、率にして0.8パーセントの減となっております。また、臨時財政対策債の発行可能額は1億5,558万円であり、昨年度と比較して1億7,268万円、率にして52.6パーセントの減となっております。昨年度は、国税収入の増加に伴い令和3年度に続いて普通交付税の再算定による追加交付があったため交付額が大きくなっており、これが昨年度比で減となった主な要因となっております。

新型コロナウイルス感染症の影響による経済の混乱も収束し、回復の兆しが見え始めていることで、国や地方の税収も増加傾向となってきてはおりますが、当市の財政状況においては、人口の減少傾向を考慮すると、決して楽観視はできないものと考えております。

今後も行政評価を着実に実施しつつ、事業の選択と集中を適切に

行いながら、将来にわたり持続可能な財政運営に努めてまいります。

### **(3)新型コロナウイルスのワクチン接種について**

新型コロナウイルスのワクチン接種につきましては、令和5年度も自己負担なしで接種を受けることが可能であります。

来月からは、「令和5年秋開始接種」として協力医療機関での個別接種を開始いたします。これは、初回接種を終了した全ての方を対象としたものとなっております。

「秋開始接種」では、基礎疾患をお持ちでない64歳以下の方にはワクチン接種の努力義務が課せられておりません。接種を希望する方は、コールセンターへの電話または市のホームページからの申し込みにより、接種券付予診票の発行申請が必要となりますので手続きをお願いいたします。

65歳以上の方の場合は、「春開始接種」にあわせて送付した接種券付予診票がお手元があればそのままご利用いただくことが可能であり、既に接種券付予診票を使用された方へは接種間隔の経過後に再度お送りいたしますので、お手元に届くまでお待ちください。

「秋開始接種」では、接種券付予診票の発行申請が必要になるなど、これまでのワクチン接種とは手続きの流れが変わっております。全戸配布のチラシなどで市民の皆様に適宜お知らせしてまいります

ので、引き続き市から発信する情報をご確認くださいようお願いいたします。

#### **(4)歴史文化で結ぶ都市間交流宣言事業について**

「歴史文化で結ぶ都市間交流宣言事業」につきましては、津軽藩主である津軽氏ゆかりの青森県弘前市・黒石市・鱒ヶ沢町、岩手県久慈市及び当市が、地域間交流の促進と、それぞれの郷土文化への愛着を育むことを目的にイベントを開催しているものであります。久慈市において昨年度事業が行われた際に次年度の開催地の推薦があり、第3回目となる今年度は、当市を会場として開催いたします。

9月30日には、5自治体の首長が連携会議及び交流宣言を行い、翌10月1日には「第15回 増田 蔵の日」に合わせ、増田地域にて、歴史文化発表会や各自治体のPR展示等を実施いたします。

このほか、後三年合戦金沢資料館では、鱒ヶ沢町のご協力のもと、「津軽氏ゆかりの文化財」の出張展示を9月9日から開催いたします。500年以上にわたる歴史がつむいだ縁を今後も大事に育てながら、5自治体間の多岐にわたる交流を図ってまいります。

## **(5) 増田まんが美術館を拠点とした文化観光の推進について**

横手市増田まんが美術館では、7月1日から9月24日までの期間で夏の特別企画展「エヴァンゲリオン大博覧会」が開催されており、今月16日までの1カ月半余りの間に35,000人を超えるお客様がまんが美術館を訪れ、大盛況となっております。期間中は、増田の町並みで特別企画展とのコラボメニューやコラボ商品が販売されているほか、スタンプラリーなども行われており、美術館から町並みへ足を運ぶ人の姿が見受けられます。また、増田エリアのみならず、JR横手駅やかまくら館などでも特別企画展と連携した装飾やサービスの提供に工夫を凝らし、訪れた方々に楽しんでいただいております、まんが美術館を拠点とした市内周遊による賑わい・経済効果が生まれております。

今後もまんが美術館や増田の町並みなど市内の貴重な資源を活かした文化観光により、横手市全体の賑わいが創出され、地域経済に好影響をもたらすよう取り組んでまいります。

## **(6) 柳田工業団地整備事業について**

輸送機関連産業のさらなる集積や多種多様な分野の企業が進出する受け皿となるよう昨年度より進めております柳田工業団地整備事業につきましては、拡張予定地の地権者から用地提供の内諾が得ら

れ、今年度中に用地取得を完了できる見込みとなっております。

あわせて、上下水道整備に関する実施設計業務を行っているところであり、その後、造成工事に着手する予定としております。令和8年度中に分譲を開始できるよう、早期の完成を目指し、引き続き皆様のご理解とご協力を得ながら整備を進めてまいります。

## (7) 雪捨場用地取得事業について

赤坂総合公園駐車場にある横手第3雪捨場の<sup>だいた</sup>代替となる新たな雪捨場については、地域の皆様、また関係する方々のご理解のもと、前郷字<sup>はげやま</sup>元山地区及び大沢字山下地区に設置を進めております。

既に用地取得は完了し、現在は進入路や水路の整備、整地作業などを行っているところであります。今年の冬から雪捨場として利用いただけるよう、今後は安全な稼働に向けた準備を着実に進めてまいります。

## 4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今議会には通常の補正予算のほか、速やかに議決をいただきたい

7月の大雨災害に係る林道施設災害復旧費を分けて提案するかたちとしており、あわせて2件の提案となります。

一般会計補正予算「第5号」の補正額は620万円の増額で、内訳は林道施設に係る災害復旧事業費であります。

また、一般会計補正予算「第6号」は、17億1,910万円の増額で、主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ 保育所整備助成事業	2,798万円
◎ 母子保健事業	724万円
◎ スマート農業普及支援事業	1,762万円
◎ 観光誘客推進事業	630万円

などであります。

これら2件の補正後の歳入歳出予算総額は617億3,140万円であります。

## 5. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件5件、継続費精算報告書の報告案件1件、同意案件3件、令和4年度一般会計歳入歳出決算など決算認定12件、条例案件7件、契約関係などその他案件4件、令和5年度一般会計補正予算案など補正議案4件の



合計 36 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、  
所信説明といたします。



# 行政一般報告編

～ 6月議会定例会以降の行事等について ～

# 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

## 目 次

(1) 増田地区交流センターまつり.....	18
(2) マンガが結ぶ夏の体験、エンジョイ マンガロード！ .....	18
(3) 「釣りキチ三平の里」体験学習館アドベンチャーキャンプ .....	18
(4) 増田小学校の農業体験交流学习 .....	19
(5) 第42回あやめまつり .....	19
(6) 第50回雄物川駅伝競走大会 .....	19
(7) 第25回ははは祭.....	20
(8) 第40回関東地区大森町ふるさと会総会 .....	20
(9) 第38回首都圏十文字会総会 .....	20
(10) 大松川ダム公園植栽イベント.....	21
(11) 夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃) .....	21
(12) 2023大雄サマーフェスティバル.....	21
(13) 食農フェスタ2023 .....	22
(14) 第20回よこての全国線香花火大会 .....	22
(15) 横手の送り盆まつり .....	22
(16) 水道広域化事業に関する基本協定の調印.....	23
(17) 雄物川郷土資料館特別展「古地図から見る平鹿地方」.....	23
(18) 後三年合戦金沢資料館企画展「西日本の絵詞」.....	23
(19) 県営ほ場整備事業に伴う蟹沢遺跡発掘調査 .....	23
(20) 後三年合戦沼柵公開講座.....	23
(21) 夏休み子ども教室 .....	24
(22) 秋田大学横手分校講座「たのしく学ぼう！ 算数」.....	24
(23) 令和5年度横手市二十歳のつどい .....	24
(24) 第16回横手わか杉カップ .....	25
(25) 大学のスポーツ合宿.....	25

## 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(1)増田地区交流センターまつり</b></p> <p>7月2日、「増田地区交流センターまつり」が開催され、4年ぶりとなって多くの皆様にお越しいただき、親子連れなど約500人の来場がありました。</p> <p>地区交流センターまつりは、昔の縁日の雰囲気地域の子どもたちに味わってもらうために始めたおまつりです。射的や輪投げなどの縁日コーナーや紙芝居、化学実験ショーの催しもあり、多くの子どもやそのご家族が昔のおまつりの雰囲気を味わいました。</p> <p>また、当日は秋田県の地震体験車も来場し、まつりに来た多くの方々が地震の揺れを体験し、防災意識の高揚にも一役買いました。</p>
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(2)マンガが結ぶ夏の体験、エンジョイ マンガロード！</b></p> <p>マンガを活かしたまちづくりを推進している宮城県石巻市や登米市との交流事業である「増田っ子塾エンジョイマンガロード」が、7月26日から27日の日程で開催されました。</p> <p>この交流事業は、平成13年度に旧増田町と宮城県の石巻市、旧中田町の3市町で『みちのくマンガロード連絡協議会』を設立したことをきっかけに、平成16年度から冬は当市でスキーなどの雪国体験交流、夏は石巻市や登米市などで交流を行っているというもので、コロナ禍による休止もありましたが、4年ぶりの開催となりました。</p> <p>今回、増田小学校から参加した児童は6名で、両市のまんが施設や震災遺構の門脇小学校の見学、三滝堂ふれあい公園内での溪流川遊び体験などを行い、夏の思い出をつくりました。</p>
<b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b>	<p><b>(3)「釣りキチ三平の里」体験学習館アドベンチャーキャンプ</b></p> <p>8月3日、4日に市内の小学4年生から6年生まで計18名が参加し、「アドベンチャーキャンプ」を実施しました。このキャンプは平成28年度から実施しており、都合により中止とした年もありましたが今年で6回目の開催となりました。夏休みを利用して自然の中での体験活動をするとともに、他の学校の児童との交流などを目的としています。</p> <p>1日目は秋田駒ヶ岳登山に挑戦し、山の植物などを観察しながら歩き、夜は体験学習館に戻ってキャンプファイヤーを実施し参加者の交流を深めました。2日目はイワナのつかみ取りやそば打ちを体験し、2日間を通じて自然の素晴らしさを感じてもらいました。参加した子どもたちにとっては夏休みの良い思い出になるとともに、初めて会う友達と協力しながら活動を行うなかで、仲間と協力する力やコミュニケーション能力の向上につながったことと思います。</p>

## 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<p><b>まちづくり推進部 (増田地域局)</b></p>	<p><b>(4)増田小学校の農業体験交流学习</b></p> <p>子どもたちに食と農の大切さを学んでもらおうと、増田小学校5年生の児童33名が6月27日に稲の生育調査と田んぼの生物調査を行いました。</p> <p>この事業は、増田高等学校や地元女性農業団体の協力により5月の田植えに引き続き実施されたもので、「サキホコレ」の身長(草丈)・顔色(葉色)・体格(分けつ)の診断や、様々な生物が田んぼに生息していることをみんなで観察し確認しました。</p> <p>今後も稲刈り、食事会、販売を通じて交流学习事業を進めていくほか、新たな取り組みとして食の大切さについて栄養士の講話も取り入れる予定としています。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (平鹿地域局)</b></p>	<p><b>(5)第42回あやめまつり</b></p> <p>第42回浅舞公園あやめまつりが、6月24日から7月2日の9日間にわたり開催されました。開会にあわせて開花となり、期間中には彩り豊かな花々が咲き揃い、来場者は園内をゆったりと散策していました。</p> <p>今年は、JR東日本横手駅様のご協力のもと、ミニ列車の乗車体験が実施されたほか、多くのイベントが行われ、約23,000人の来場者で賑わいました。</p> <p>この他、まつり開催前には、地元の各団体や地域住民の方々による浅舞公園周辺道路のクリーンアップが実施され、おもてなしの心で環境美化を図るなど、地域との協働の取り組みも行われております。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (雄物川地域局)</b></p>	<p><b>(6)第50回雄物川駅伝競走大会</b></p> <p>6月25日、雄物川河川公園をメイン会場に、「第50回雄物川駅伝競走大会」を開催いたしました。地域、企業、仲間同士などで組まれた25チームと、横手明峰中学校3チームが参加し、5区間全長13.1kmのコースで襷をつなぎました。今年も地元雄物川の「大沢ランナーズ」が47分39秒でゴールし、3連覇を果たしました。また、50回の節目を記念し、大会功労者や最多出場者等への表彰を行ったほか、地域局内コミュニティホールにて、過去の大会の写真や賞状などを展示したメモリアルコーナーを設置し、多くの方々にご覧いただきました。</p>

## 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<b>まちづくり推進部 (雄物川地域局)</b>	<p><b>(7)第25回ははは祭</b></p> <p>平成8年8月8日に「は・は・は」の語呂合わせから始まり、笑顔の町雄物川の夏の風物詩として25回目を迎えた「ははは祭」が、8月8日、会場を今宿商店街通りから雄物川庁舎敷地内に移し、4年ぶりに開催されました。</p> <p>当日の会場では、アーティストによるライブやよさこいソーラン、雄物川高校吹奏楽部の演奏に加え、ストリートダンスやフリースローコンテストなどが祭りを盛り上げ、約5,000人の人出で賑わいました。</p>
<b>まちづくり推進部 (大森地域局)</b>	<p><b>(8)第40回関東地区大森町ふるさと会総会</b></p> <p>7月23日、上野精養軒にて関東地区大森町ふるさと会総会並びに懇親会が開催されました。今回で40回目を迎える記念の会には、会員や来賓、関係者94名が参加し、久しぶりの旧交を温めました。</p> <p>懇親会のアトラクションでは歌謡ショーやステージイベントで盛り上がったほか、会場内には地酒「大納川」や地元の野菜、加工品の販売ブースを設け、ふるさとの特産品を買い求める会員で大いに賑わいました。</p> <p>最後に「故郷」の大合唱で締めくくり、次回の再会を誓い合いました。</p>
<b>まちづくり推進部 (十文字地域局)</b>	<p><b>(9)第38回首都圏十文字会総会</b></p> <p>7月2日、東京都浅草ビューホテルを会場に、「第38回首都圏十文字会総会」が約160人の参加のもと盛大に開催されました。</p> <p>今年度は若い会員も増え、昨年を大幅に上回る皆様にお集まりいただきました。当日は30度を超す気温となりましたが、和やかで居心地の良い時間を共に過ごすことができました。</p> <p>また、さくらんぼの収穫時期の開催は4年ぶりであり、お土産のさくらんぼは参加された皆様に大変喜ばれました。</p> <p>アトラクションでは、首都圏で活躍する県南出身者中心のバンドによる演奏が行われ、会場内に設けられた横手市特産品の販売ブースも大いに賑わいました。</p> <p>今後も引き続き、距離は離れていても首都圏十文字会の皆様と心を近くに、ふるさとの情報発信と会員相互の親睦交流に努めてまいります。</p>

## 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p><b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b></p>	<p><b>(10)大松川ダム公園植栽イベント</b></p> <p>6月17日、大松川ダム公園において昨年に引き続き、「大松川ダム公園植栽イベント」を開催しました。</p> <p>大松川ダム芝桜園では完成以来、山内地域のにぎわい創出を目的に「さんない芝桜まつり」を開催してきましたが、近年は芝桜の生育が思わしくなく、来場者から「芝桜を見に来たのに咲いていない」と残念がる声が多いことや、担い手不足等によりこれまでと同規模のまつりの継続が困難になってきていることが課題でした。</p> <p>このようなことから、令和4年3月のさんない芝桜まつり実行委員会において協議し、令和4年度から観光資源の再構築と地域住民の交流を目的に「植栽イベント」を実施しているものです。</p> <p>イベント当日は49名が参加し、斜面や雪に強いとされる植物「ヒペリカム」1,300株と、「アジサイ」100株をそれぞれ植栽しました。</p> <p>今後も官民一体となった地域課題解決への取り組みを進めてまいります。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (山内地域局)</b></p>	<p><b>(11)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃)</b></p> <p>環境美化に対する意識の高揚を図るため、8月6日早朝、地域内の国道や県道、幹線道路沿線及び河川において、地域住民総出による「夏のクリーンアップ」を実施しました。</p> <p>当日は、841人の市民の皆様に参加いただき、燃やすごみ200kg、燃やさないごみ170kgが集められました。</p> <p>今後も、地域の環境をより良くするための活動を継続してまいります。</p>
<p><b>まちづくり推進部 (大雄地域局)</b></p>	<p><b>(12)2023大雄サマーフェスティバル</b></p> <p>7月29日、今年で36回目となる「大雄サマーフェスティバル」を、楽天イーグルススタジアム大雄駐車場内を会場に開催いたしました。</p> <p>このイベントは、商工会青年部を中心に大雄地域内の団体からなる実行委員会を組織し、企画・運営しているものです。当日は、「たいゆう保育園児の踊り&amp;太鼓披露」を皮切りに、地元大雄産スイカを使用したゲームや子供たちに人気の「カブトムシ木登りレース」などを実施したほか、「ビアガーデン」を行いました。また、実力派演歌歌手「大江裕」さんの登場で会場は大いに盛り上がりました。</p> <p>フィナーレでは、会場のそばから迫力満点の花火を打ち上げ、大雄の熱い夏を満喫していただきました。</p>



## 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>農林部</b> <b>(食農推進課)</b>	<p><b>(13)食農フェスタ2023</b></p> <p>8月4日、横手市園芸振興拠点センターを会場に、「食農フェスタ2023」を開催しました。</p> <p>食農フェスタは、園芸振興拠点センターのPRと、市民の皆様へ横手産野菜の魅力を発信することを目的としており、NHKの番組に出演中の恵泉女学園大学副学長・藤田智先生<small>けいせん</small>による講演会や直進アシスト機能付きトラクター体験などスマート農業の紹介、センター内を巡りながら園芸に関するクイズに答えるセンタークエスト、農産物即売会のほか、横手産野菜を使った料理の試食などを行いました。</p> <p>当日は、約500人の市民の皆様にご来場いただき、園芸振興拠点センターや横手の食と農について理解を深めていただきました。</p>
<b>商工観光部</b> <b>(観光おもてなし課)</b>	<p><b>(14)第20回よこての全国線香花火大会</b></p> <p>7月22日、20回目の記念となる「よこての全国線香花火大会」が実行委員会主催により開催されました。横手川蛇の崎川原を会場に、国産花火を楽しみながら、故郷を思う気持ちを育み、日本の貴重な文化を体験してもらおうという催しです。</p> <p>前週の大雨などの影響で会場のコンディションは良くありませんでしたが、浴衣姿の小中高生や親子連れを中心に、約7,700人の方々が会場を訪れ、線香花火の持続時間を競う大会や、大会提供の迫力あるおもちゃ花火の打ち上げなど、夏の夜の賑わいを体感しました。</p> <p>当日は、高校生をはじめとした200人を超えるボランティアがスタッフとともに汗を流してくれました。また、茨城県那珂市からは観光PRブースを出展いただき、イベントの盛り上げにご協力をいただきました。</p>
<b>商工観光部</b> <b>(観光おもてなし課)</b>	<p><b>(15)横手の送り盆まつり</b></p> <p>横手地域の夏を彩る伝統行事「送り盆まつり」が開催され、8月6日の「ねむり流し」を皮切りに、15日には市民盆おどりと屋形舟鑑賞会、16日には屋形舟繰り出しが行われました。</p> <p>ねむり流しには13団体が参加し、子どもたちの願いを書いた短冊を飾った小舟が蛇の崎川原に繰り出しました。市民盆踊り大会では、18団体、約500人の踊り手が浴衣姿で笛や太鼓のお囃子にあわせ、屋形舟の周りを優雅に踊りました。屋形舟繰り出しでは、13町内の舟が蛇の崎橋の上で威勢よくぶつかり合い、横手城をバックに打ち上げられた花火とともに、来場者を魅了しました。</p> <p>15日と16日の来場者数は合わせて約93,000人でした。</p>

## 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>上下水道部</b> <b>(水道課)</b>	<b>(16)水道広域化事業に関する基本協定の調印</b> 横手市山内黒沢地区への安定給水を目的として、岩手県西和賀町の水道施設を共同利用しようとする「水道広域化事業」に関する基本協定を、7月24日に西和賀町湯田庁舎において締結いたしました。早々に整備工事に着手し、早期の通水を目指してまいります。
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<b>(17)雄物川郷土資料館特別展「古地図から見る平鹿地方」</b> 雄物川郷土資料館において、地域に伝わる近世から近代にかけての絵図を展示する「古地図から見る平鹿地方」展を開催しました。 古絵図・古地図を通して、現代に至る地域の成立過程を追うことができる展示であり、4月29日から6月25日までの50日間の会期中、259人の入場者がありました。
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<b>(18)後三年合戦金沢資料館企画展「西日本の絵詞」</b> 後三年合戦金沢資料館において、岡山県の旧家に伝わる絵巻を展示する「西日本の絵詞」展を開催しました。 西日本の絵巻と地元の郷土史家戎谷南山の筆による後三年合戦絵詞を比べる展示であり、4月29日から7月2日までの56日間の会期中、713人の入場者がありました。
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<b>(19)県営ほ場整備事業に伴う蟹沢遺跡発掘調査</b> 平鹿蟹沢地区の県営ほ場整備事業に伴い、5月8日から7月31日にかけて蟹沢遺跡の発掘調査を行いました。 調査の結果、古墳・平安・中世以降の複合遺跡であり、特徴的な遺物として、古墳時代の須恵器甕 <small>すえきかめ</small> が県内で初めて出土しました。7月8日には、市民の皆様を対象とした遺跡の現地公開を実施し、約80人が参加しました。
<b>教育総務部</b> <b>(文化財保護課)</b>	<b>(20)後三年合戦沼柵公開講座</b> 8月20日に、雄物川コミュニティセンターにおいて、後三年合戦沼柵公開講座を開催しました。 講師に、江戸東京博物館の齋藤慎一氏をはじめ、東北学院大学教授の竹井英文氏、雄勝城・駅家研究会代表の高橋学氏を招き、古代と中世のお城の構造の違いや中世後期に小野寺氏が果たした役割などについてご講演いただきました。 公開講座終了後、当日の資料集は市のホームページで公開しました。

## 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(21)夏休み子ども教室</b></p> <p>夏休み子ども教室を市内14カ所に開設し、小学生212人を対象に開催しました。</p> <p>この事業は、学校の長期休業中に、地域住民の皆様の協力を得て子どもたちに学習や体験活動の場を提供するもので、地域ぐるみで子どもたちの健全な育成を図ることを目的に実施しております。</p> <p>各教室では、地域の伝統や特色を学ぶ体験活動のほか、地区交流センターや秋田大学と連携するなど趣向を凝らした活動を行いました。</p> <p>参加した子どもたちは家庭や学校だけでは体験することのできない貴重な時間を過ごしました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(22)秋田大学横手分校講座「たのしく学ぼう！算数」</b></p> <p>8月8日、横手北小学校において「たのしく学ぼう！算数」を開催し、29名が参加しました。</p> <p>この講座は、市内小学校の4～6年生を対象として、体全体を使った体験活動を通して、算数を学ぶ楽しさを実感するとともに、算数の理解を広げ深めることを目的に行われたもので、秋田大学の教員と学生が講師を務めました。</p> <p>参加した子どもたちは、いつもの算数の授業とは違う、ブロックや折り紙を使った図形づくりや体を使ったグラフづくりに夢中で取り組んでいました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(生涯学習課)</b>	<p><b>(23)令和5年度横手市二十歳のつどい</b></p> <p>8月15日、横手市民会館において横手市二十歳のつどいを開催しました。</p> <p>今回の対象者は、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた市内在住者及び平成29年度市内中学校卒業生の798名で、そのうち552名が出席しました。</p> <p>式典では、代表者が力強く二十歳の誓いを述べ、実行委員が企画したアトラクションも行われました。参加者は、旧友との再会を喜びながら、近況を報告し合っていました。</p>

## 令和5年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<p><b>(24)第16回横手わか杉カップ</b></p> <p>7月15日から17日までの3日間、今年で16回目となる全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会「横手わか杉カップ」が雄物川体育館で開催されました。北は北海道、南は広島県から全国の高校男子バレーボール界を牽引する強豪校8校が参加し、ハイレベルな熱い戦いを繰り広げました。</p> <p>雄物川高校は、第4位という結果となり、迫力あるプレーで会場を盛り上げたほか、3日間で訪れたたくさんの市民やバレーボールファンに多くの感動を与えてくれました。</p>
<b>教育総務部</b> <b>(スポーツ振興課)</b>	<p><b>(25)大学のスポーツ合宿</b></p> <p>夏季の横手市を会場として、複数の大学のスポーツ合宿が開催されました。</p> <p>7月30日から8月3日までは、大森体育館を会場に玉川大学(東京都)女子バスケットボール部35名による夏合宿が開催されました。</p> <p>8月1日から10日までは、グリーンスタジアムよこてを会場に神奈川大学硬式野球部39名、8月11日から22日までは、同会場で日本体育大学野球部延べ約100人による合宿が開催されました。各合宿期間中は、オープン戦や練習の様子を公開したほか、市内の中学生らを対象にスポーツクリニックを開催していただき、当市の競技力向上につなげることが出来ました。</p>